

第 3 回

登録建築測量基幹技能者講習 修了試験問題

一般社団法人全国建築測量協会

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60 分

2. 問題数 25 問

3. 注意事項

- (1) 試験問題は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 机上には、受講票・筆記用具・計算機以外のものは置かないでください。
- (4) 携帯電話、スマートウォッチ等の通信機能のある機器は、電源を切りカバンの中に入れて下さい。
- (5) 解答はマークシートに鉛筆かシャープペンシルで記入してください。それ以外のボールペン筆などを使用した場合は採点できません。
- (6) 問題は四肢択一方式です。正解と思う番号を次の例に従って塗りつぶしてください。

マーク例 ● (濃くマークしてください。はみ出し注意)

- (7) マークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消して訂正してください。
- (8) 試験開始後 30 分間は退出できません。30 分経過後に解答が終了した場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って退室して下さい。退室後は試験終了まで再入室ができません。
- (9) 問題用紙は、試験終了後に回収しますので持ち帰らないようにしてください。

第3回 登録建築測量基幹技能者 試験問題

【問 1】 登録基幹技能者に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 登録基幹技能者とは、熟達した作業能力を持った者である
- ② 登録基幹技能者とは、豊富な知識を持った者である
- ③ 登録基幹技能者とは、マネジメント能力に優れた者である
- ④ 登録基幹技能者とは、国土地理院の登録を受けた機関が資格認定した者である

【問 2】 登録基幹技能者の役割に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 施工方法等の提案・調整
- ② 技能者の適切な配置、作業方法、手順等の構成
- ③ 元請に対する施工に係る指示
- ④ 前工程・後工程に配慮した連絡調整

【問 3】 OJT 指導教育の基本知識に関する次の記述の（ A ）に当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。

OJT は、職場の上司が部下の育成のために、（ A ）行う指導・教育であり、日常の仕事を離れて行われる集合研修・教育（OFF-JT）とは異なる。

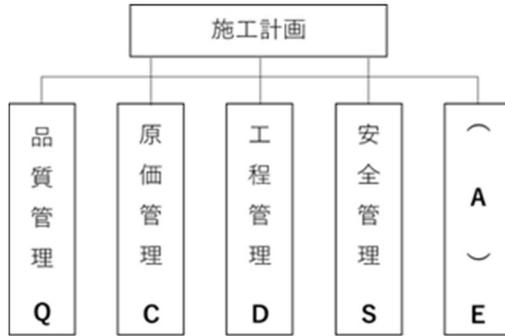
- ① 年に1回
- ② 日常の作業を通して
- ③ 専門講師を招いて
- ④ 休日に

【問 4】 適用除外申請を行わない場合に、社会保険の加入義務に関する次の表の（ A ）と（ B ）に当てはまる語句として、最も適当な組み合わせはどれか。

事業所の形態	常用労働者の数	就労形態	健康保険	年金保険	雇用保険
法人	1人～	常用労働者	協会けんぽ	厚生年金	加入
	-	役員等	協会けんぽ	厚生年金	適用除外
個人事業主	5人～	常用労働者	協会けんぽ	厚生年金	加入
	1～4人	常用労働者	（ A ）	（ B ）	加入
	-	一人親方	国民健康保険	国民年金	適用除外

- ① A：国民健康保険 B：国民年金
- ② A：協会けんぽ B：国民年金
- ③ A：協会けんぽ B：厚生年金
- ④ A：国民健康保険 B：厚生年金

【問 5】 施工計画に関する次の表の（ A ）に当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。



- ① 衛生管理
- ② 環境保全管理
- ③ 施工管理
- ④ 体調管理

【問 6】 PDCA サイクルに関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

- ① 計画を立てる → 結果と計画を比べ検討する → 計画に基づき実施する → 適切な処置を施す
- ② 計画を立てる → 計画に基づき実施する → 結果と計画を比べ検討する → 適切な処置を施す
- ③ 計画を立てる → 結果と計画を比べ検討する → 適切な処置を施す → 計画に基づき実施する
- ④ 計画を立てる → 計画に基づき実施する → 適切な処置を施す → 結果と計画を比べ検討する

【問 7】 施工計画に関する次の記述のうち、流れとして最も適当なものはどれか。

- ① 管理計画 → 事前調査 → 基本計画 → 詳細計画
- ② 事前調査 → 基本計画 → 詳細計画 → 管理計画
- ③ 事前調査 → 管理計画 → 基本計画 → 詳細計画
- ④ 基本計画 → 事前調査 → 詳細計画 → 管理計画

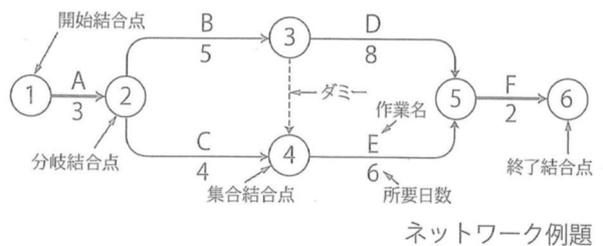
【問 8】 安全管理計画のハインリッヒの法則に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

- ① 1 (死亡・重症) : 28 (軽傷) : 300 (無傷災害)
- ② 1 (死亡・重症) : 29 (軽傷) : 300 (無傷災害)
- ③ 1 (死亡・重症) : 30 (軽傷) : 300 (無傷災害)
- ④ 1 (死亡・重症) : 31 (軽傷) : 300 (無傷災害)

【問 9】 工程計画の作業可能日数 4、工事量 2 の場合に 1 日当たりの平均施工量で最も適当なものはどれか。

- ① 0.5
- ② 2
- ③ 4
- ④ 8

【問 10】 下記ネットワーク例題の記述について最も不適当なものはどれか。



- ① ④の最早開始時刻(E S T)は8である
- ② ④の最遅終了時刻(L F T)は10である
- ③ ⑤の最遅終了時刻(L F T)は16である
- ④ クリティカルパス(CP)の経路は15である

※ 試験当日に【問 10】に関して、以下の訂正を口頭でお知らせしました。

訂正内容：

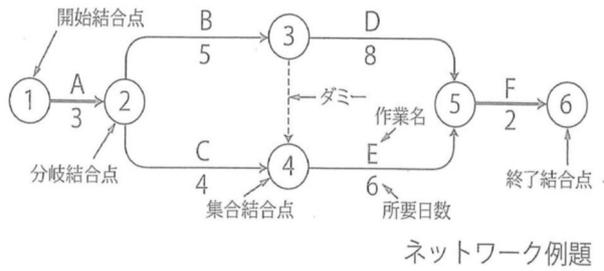
誤：最も適当なものはどれか。

正：最も不適当なものはどれか。

この訂正は試験中に周知されており、採点への影響はないものとします。

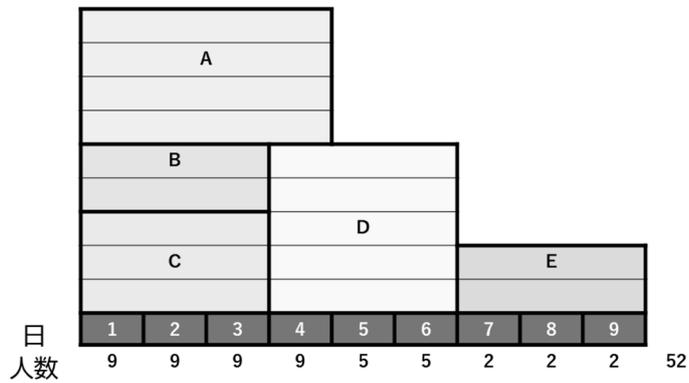
また、今回公表する問題文には、試験中に行った訂正内容が反映されています。

【問 11】 下記ネットワーク例題の記述について最も適当なものはどれか。



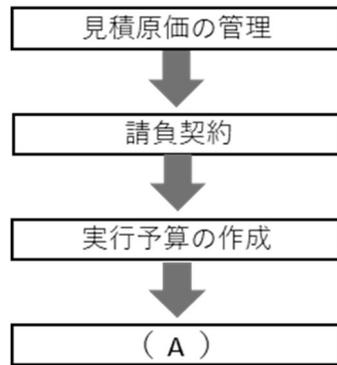
- ① Dのトータルフロートは0である
- ② Dのトータルフロートは1である
- ③ Dのトータルフロートは2である
- ④ Dのトータルフロートは3である

【問 12】 次の山積み表の『D工事』にかかる合計人数と日数で、最も適当なものはどれか。



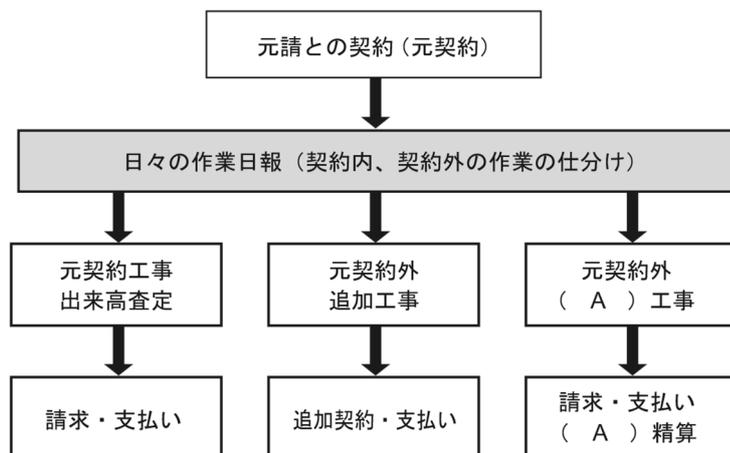
- ① 合計人数 : 15人 日数 : 3日
- ② 合計人数 : 9人 日数 : 3日
- ③ 合計人数 : 19人 日数 : 3日
- ④ 合計人数 : 6人 日数 : 3日

【問 13】 原価管理計画に関する次の表の（ A ）に当てはまる語句として最も適当なものはどれか。



- ① 施工管理
- ② コスト管理
- ③ 工程管理
- ④ 予算実績管理

【問 14】 予算実績管理に関する次の表の（ A ）に当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。



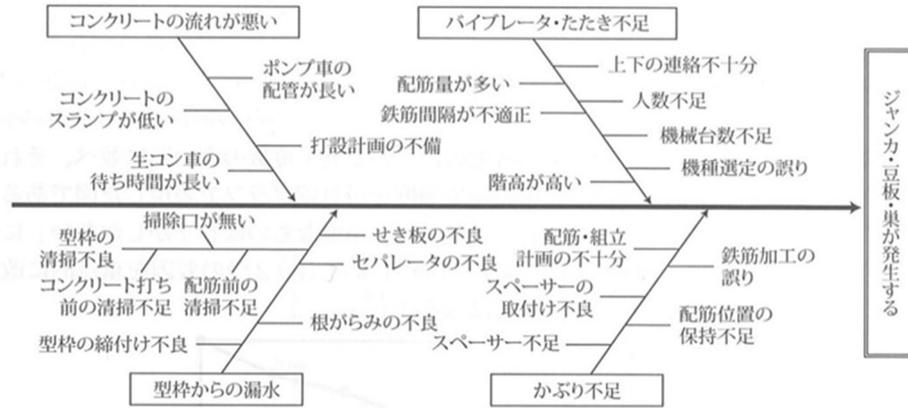
- ① 請負
- ② 外構
- ③ 常用
- ④ 内装

【問 15】 施工品質に関する（ A ）と（ B ）に当てはまる語句として、最も適当な組み合わせはどれか。

専門工事業者等（下請）は過去の検討過程をよく理解して「（ A ）」・「（ B ）」を作成し総合工事業者に提出する。

- ① 業務別施工計画書・業務別施工要領書
- ② 工種別施工計画書・工種別施工要領書
- ③ 設計別施工計画書・設計別施工要領書
- ④ 管理別施工計画書・管理別施工要領書

【問 16】 QC7 つ道具に関する以下の図について最も適当なものはどれか。



- ① 散布図
- ② 管理図
- ③ パレート図
- ④ 特性要因図

【問 17】 度数率に関する計算式の (A) に当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。

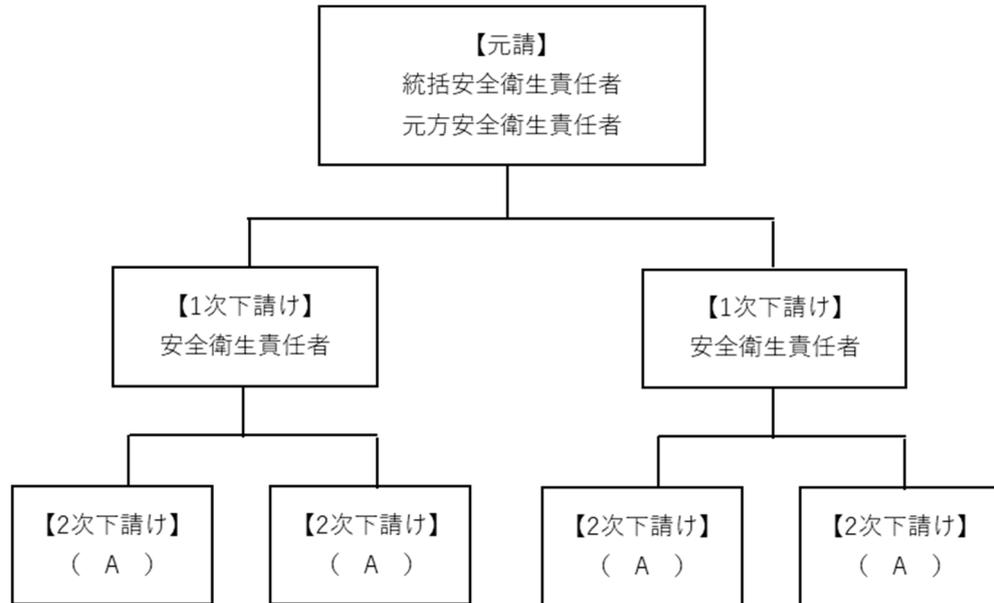
$$\text{度数率} = (A) / \text{延労働時間数} \times 100 \text{ 万時間}$$

- ① 死亡者数
- ② 死傷者数
- ③ 負傷者数
- ④ 労働者数

【問 18】 安全衛生規則により推奨される墜落防止対策に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 作業床は幅が 40 c m 以上とし、かつ床材の隙間が 3 c m 以下とする
- ② 高さが 2 m 以上のところでは作業を行う場合は作業床を設置する
- ③ 作業床の設置が設置困難な場合には落下防止ネットを張り墜落制止用器具を使用させる
- ④ 手すりは床面から 85 c m 未満で中さんと必要に応じて幅木を設ける

【問 19】 次の表の（ A ）に当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。



- ① 作業責任者
- ② 安全衛生責任者
- ③ 工事責任者
- ④ 法令上の責任者は不要

【問 20】 労働安全衛生法では会社経営者が現場にいなくても、現場責任者である職長に労働安全衛生法違反があれば、会社にもその責任が及ぶ事が定められている、この事をなんというか。次の語句から最も適当なものを選べ。

- ① 処罰規定
- ② 使用者責任
- ③ 両罰規定
- ④ 法令違反

【問 21】 リスクアセスメントに関する次の表の（ A ）に当てはまる語句として、最も適当なものはどれか。

見積点数	優先度	検討基準
9	5	他の方法（工法等）を講ずる必要あり
6	4	すぐにリスク低減措置を講ずる必要あり
3～4	3	計画的な改善の必要あり
2	2	何らかの改善の必要あり
1	1	(A)

- ① 低減処置を講ずる必要なし
- ② 必要に応じて低減処置を実施
- ③ 低減処置の必要性を現場へ確認
- ④ 低減処置の必要性を安全担当へ確認

【問 22】 赤伝処理に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

- ① 赤伝処理を行う場合は、元請負人と下請負人双方の協議・合意が必要である
- ② 赤伝処理を行う場合は、その内容について合意があれば、見積条件・契約書面に明示する必要はない
- ③ 適正な手続に基づかない赤伝処理は建設業法に違反するおそれがある
- ④ 差引額については下請負人の過剰負担とならないよう十分に配慮することが必要である

【問 23】 次の条件で、48,500 mmの距離を鋼製巻尺で温度補正を行い設定する場合、実長距離に最も近いものは次のどれか。

条件：測定時の張力＝検定張力 標準温度＝20℃ 測定時の温度＝5℃

スチールの線膨張係数＝0.0000115

- ① 48,497 mm
- ② 48,503 mm
- ③ 48,508 mm
- ④ 48,492 mm

【問 24】 通り心（基準線）の設定に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 縮尺係数についての確認や、通り心設定方法を決定するのは、建築測量技能者である
- ② 実地において追い出す距離は、水平距離である
- ③ 日本で用いられている平面直角座標は全国で19の座標系に区分されている
- ④ 通り心の追い出しとなる敷地境界や既存建物などはあらかじめ監理者、元請け職員と現地にて確認を行う

【問 25】 基準レベルの設定に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

- ① 各階基準レベルの追い上げは、S造の場合は鉄骨歪み直し完了後に、実施することが望ましい
- ② 基準レベル設定場所は、後になって確認できる連続した同一面が望ましい
- ③ 各階基準レベルの追い上げは、建物の軸縮み予想量により、階高を設計寸法と異なる値で設定する場合がある
- ④ 各階基準レベルの追い上げは、2カ所以上で行い、追い上げ誤差や間違いがないことを確認する

2024年 第3回

登録建築測量基幹技能者講習 修了試験問題解答

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
④	③	②	①	②

問 6	問 7	問 8	問 9	問 10
②	②	②	①	④

問 11	問 12	問 13	問 14	問 15
①	①	④	③	②

問 16	問 17	問 18	問 19	問 20
④	②	④	②	③

問 21	問 22	問 23	問 24	問 25
②	②	③	①	①

配点

4点 × 25問 = 100点

合格基準

登録建築測量基幹技能者認定講習修了試験において、100点満点で60点以上を取得した者を合格者とする。